

あんぜん あんしん お届けします。

モグモグ

MOGMOG

2024
No.474

CO-OP
東都生協だより

3&4

次回5月号は5月6日からの配付です

有機栽培で育てた
にらとミニトマト

特集

第19回 東都生協平和のつどい
響け 今こそ 平和の願い

MOGMOG レシピ

にらが主役!

にらのしゃぶしゃぶ

今月の産地・
メーカー

(有)大地と自然の恵み



産地直結ひとすじ。いちばん頼れる生協に。

産直の東都生協

有機栽培で育てた にらとミニトマト



高知の太陽と水で育った青々としたにらを卵焼きに混ぜ込んで。お日さまの色をしたミニトマトも添えて春のお弁当のできあがりです。

どんなところで栽培しているの？

「有大地と自然の恵み」のある香美市香北町^{かほくちょう}は高知県の北東部に位置し、海拔1000mほどの所にあります。

冬には畑から望む山脈に、白く雪が残ります。町の86%が森林で、その中心を物部川^{もろべがわ}が流れています。恵まれた環境にある河岸段丘には、肥沃な土壌も存在します。

その肥沃な土壌と寒暖差のある自然豊かな気候により、有機栽培で育てた野菜の甘みや旨み、香りが増していくのです。中でも地元で昔から作られていた野菜は有機栽培で元気によく育ちます。その土地に合ったものを、心を込めて育てています。

にらとミニトマトを栽培している理由

住所の「^{にら}生野」というのは、「にらの生きる野原」と書くように、昔からにらの生産が盛んな土地。現在、生産している野菜は高知県の特産品で地元で作られていたものの中から、有機農業で必須の「輪作しやすいこと」、「物流コストに見合うもの」といった基準で選ばれた8品目です。

ミニトマトは、輪作に向いていることと、生産している野菜が緑色の野菜が多いため、彩りの役割も果たしています。有機で栽培する上での苦労としては、気温が上がってくると虫害が増え始め、夏場の生産が難しくなることです。

にらとミニトマトのここが魅力

太陽の光と水分をたっぷりと吸収したにらは、鮮やかな緑色をしており、えぐみも少なく、歯切れ良く育ちます。加熱し過ぎると食感がなくなるので、火を通す程度の調理が向いています。

高知県は日照量が多い土地柄です。太陽の光をたっぷり浴びたミニトマトには甘み、旨み、酸味を感じることが出来ます。生食はもちろんですが、加熱調理も向いています。例えば味噌汁の具として加熱すると、うまみが多く溶け出し、甘みと酸味が際立ちます。冷蔵庫で保存する場合はヘタを取った方が長持ちします。



有機ミニトマト 150g

3月4回参考価格：
¥318円(税込343円)



有機にら 100g

3月4回参考価格：
¥198円(税込213円)

ビタミンもミネラルもたっぷり！

自分たちが安心して食べられる物を 多くの人に提供したいから

「有大地と自然の恵み」では、これから有機農業に取り組みたいと考えている農業未経験者を積極的に受け入れています。代表の小田々さん自身もサラリーマンを辞めて高知県にUターンし、農業を始めました。農業にかぶれる体質で、有機農業に取り組む前は、農薬散布の前にかぶれ止めの薬を塗ってから作業を行っていたそうです。

2人目のお子さんが生まれた頃に、自分の一生の仕事として、農薬散布の作業を我慢して行いながら農業を営んでいくのはイヤだと思うようになり、有機農業に取り組む会社として1996年に「有大地と自然の恵み」を設立しました。

会社設立と同時に3つの理念を定めています。

- ①自然界と総合的に共存、共栄を行う。
- ②有機農業を営む人達が誇りを持って農業に取り組めるような社会環境作りに努力する。
- ③豊かな大地と自然を次世代に引き継



スタッフ同士連携して作業を行います

ぐことが出来る総合的な環境作りを行い、生産、流通、消費と有機農業に携わる全ての人に恵みが得られるように努める。

この理念に共感するスタッフが集まり、日々、汗を流しています。

農機具メーカーから転職した若手生産者の北村さん。農家の方々のお宅に営業を行い、



北村和馬さん

「有大地と自然の恵み」 七つ道具

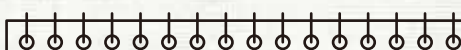
スマートフォンは連絡用。はさみは草の除草。モンキーレンチは機械などの整備。きれいな靴は出荷場や車などを汚さないよう。ぼうきとちり取りは掃除。メジャーは正確な間隔で種まきするため。



代表の小田々智徳さん

取引をしていくうちに、生産者の農業に対する考え方や思いを聞き、自分も農業をやりたいと思うようになったのが転職の動機だそうです。

「自分が安心して食べられる物を人に提供したいと強く思うようになりました。この気持ち忘れず、環境にも人にも優しい持続可能な農業を目指していきたい」という北村さんの言葉に、小田々さんが理念に込めた思いが強く受け継がれていることが感じられます。



colum
コラム

にらの香りは なぜ強い？

にらの香りの元は、硫化アリルという物質です。にらの根元には葉の4倍もの硫化アリルが含まれているため、特に根元はにら独特の匂いや風味が強くなります。にら好きにはたまらないですね。根元をカットする場合は、カットした断面から水溶性の栄養素が流出してしまうため、先に洗ってからカットするようにしましょう。

MOGMOGレシピ

5分調理時間

にらが主役！
栄養満点「にらのしゃぶしゃぶ」

材料(2人分)

にら…2束(200g)
豚バラしゃぶしゃぶ用…200g
水…5カップ
だし昆布…10cm
ぽん酢…適量

ワンポイント！

あまり火を通さず、サッとしゃぶしゃぶするのがポイントです。

作り方

- 1 にらは4～5cm長さに切る。
- 2 鍋に水とだし昆布を入れて火にかける。
- 3 2が沸騰したら、1と豚肉を入れてしゃぶしゃぶして、ぽん酢で食べる。

響け 今こそ 平和の 願い

スカイツリーを臨む天空劇場に平和への願いを込めたゴスペルが響き渡った。昨年9月16日、4年ぶりのホール開催による第19回東都生協平和のつどいに212人が参加。次世代に歴史の事実と平和の大切さを伝えていくための平和のつどいを中心に、この1年の平和活動を紹介します。



♪「いつも参加していますよ。地元開催でうれしいです」
♪「ゴスペルは、全身から湧き出る声の力に心を動かされ、元気をもらいました」
♪「平和を守り続けた先人に感謝し、若い人に伝えることの大切さを感じました」
左から 高梨さん、大畑さん、石川さん



オープニングはPraise ye the Lord(プレイズ・イ・ザ・ロード)平和への祈りと救いを全身全霊で歌い上げる西村あきこ&Ako's Family 27人の迫力あるアカペラ。

日本語訳の Amazing Grace(アメイジング・グレイス)など、アンコールを含む7曲を熱唱。西村さん作詞による Dreams Will Come True(ドリームズ・ウィル・カム・トゥルー)には「平和を諦めずに望めば必ずかなう」と願いを込めて選曲。♪夢追い続けて空に描こう〜♪の1フレーズを観客とコール&レスポンス。東友会の皆さんも前列来賓席から手拍子で盛り上げてくださいました。

3年ぶりにニューヨークから帰国したゴスペルシンガー西村あきこさんと Ako's Family ゴスペルクワイヤのメンバーが観客の前で歌うのは実に4年ぶり。コロナ禍のためリモートでのレッスンなどを積み重ね、この日を迎えることができ感慨もひとしお。

被爆証言を聞いたことで、メンバーの男性から「実は私も被爆2世です。元気に歌っています」といった告白もあり、さらにメンバー間の絆が深まったそうです。ゴスペルは、一人ひとりが思い思いに自由に歌いながらも調和していることが魅力。多様な人々が憎しみ合うことを捨て心の平穏を願い、音楽を通じて平和への祈りを捧げるゴスペルコンサートでした。

ゴスペルシンガー
西村あきこさん



ロビー展示コーナー

「戦争反対」の意思表示として服の胸やかばんに付ける小さな「戦争ほうき」を作りながら平和について語り合います。
1991年、東都生協組合員の入江篤子さんが考案し、今では全国に広がっています。



戦争ほうきの作り方は右の二次元コードから動画を見ることができます！



平和の願いの樹

カードにメッセージを記入し、平和の願いの樹に貼付

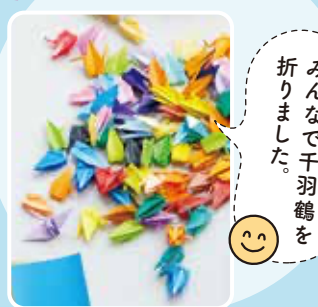


「お兄ちゃんが原爆ドームを見たいというので、広島に行ってきたばかり。家ではなかなか伝えられないことを、実際に聞くことができて、平和について考え、話し合うこともできました。弟には、原爆と人間のパネルがまだ怖かったみたいです」

平和のつどい初参加の安保(やすほ)さん親子



ORIGAMIコーナー



みんなで千羽鶴を折りました。

クイズとミニ学習コーナー

東京大空襲は
何月何日？
問題カードをめくると→正解は3月10日



文集&感想文

戦争体験文集&
平和募金企画参加者感想文
組合員から募集した戦争体験者の証言と平和へのメッセージなどを紹介する文集を毎年発行しています。



パネル展示



「ヒロシマ・ナガサキ原爆と人間」パネル展示を熱心に見る来場者

東友会との交流



一般社団法人東友会^{※1}
代表理事
家島昌志さん

東友会^{※1}との交流は1988年に始まり、平和のつどいや地域で行う学習会などで、被爆者証言をお聞きしたりしています。ピースニット(膝掛け)の贈呈と平和募金を活用して東友会の活動支援と交流を行っています。

※1 一般社団法人 東友会(東京都原爆被害者協議会)は、東京在住の広島・長崎原爆被爆者の方が1958年(昭和33年)11月16日に結成しました。60年以上、励まし合いながら、被爆者と家族のための運動や事業を続けてい、東京レベルで唯一の団体です。
※2 1951年3月の日本生協連「創立宣言」より
※3 1944年沖縄から疎開する民間船対馬丸が、アメリカ軍に撃沈され、800人近い子どもが犠牲になった事件。

和賀一美さん



生まれて初めて訪れた那覇の町を歩き、会話もできないくらいの米軍の戦闘機の轟音にびっくりしました。対馬丸事件^{※3}生存者の平良啓子さん(2023年7月に死去)のお話を聞くことができたのは貴重な経験。

永谷聖子さん



ひたむきに平和を願い、自然体で活動をする広島の人々の姿を目の当たりにしました。地域コーディネーターとして企画の参加人数にとらわれるのではなく、一人の人間として平和を願い、地域の人々に寄り添いながら、自分自身の学びを積み重ねてコツコツと発信し続けていきたい。

誰もが安心して暮らせる社会のために / 未来につなぐ募金

東都生協では、誰もが健康で安心して暮らし続けることのできる地域社会の実現を目指す活動(団体)を応援、助成を行っています。組合員一人ひとりの思いを寄せ合い集めた募金を、東都生協の商品に換えて応援する仕組みです。毎号、助成団体を紹介していきます。



団体名 すずめ食堂の会

設立 2016年12月 ボランティアの受け入れ あり
代表者 佐藤 くみ子さん 広報ツール チラシ、ホームページ
活動拠点 目黒区
活動内容 子ども食堂、パントリー、学習支援、遊び場
メンバー すずめ食堂の会有志



助成団体紹介
Vol. 06



元教師の佐藤さん作の会ロゴ

会場には「パックご飯は東都生協の提供です」の案内が！

目黒区の「すずめ食堂の会」が開催する0円マーケット会場に入ると、大きく書かれたお知らせが目に入りました。「東都生協の商品が提供されていることを知ってほしいし、私たちも感謝していますから当然です」と代表で組合員の佐藤さん。募金が役立っていることを実感しました。取材は寒さを感じ始めた11月16日夕方。この日は手作りお弁当82食22家族分が用意され、自転車に乗って何組もの親子が訪れました。

コロナ禍で食堂が開けなくなった代わりに始めたお弁当配りに、「誰かと話すきっかけが欲しい」「子育てや家事を少しだけお休みしたい」というつながりや心の解放を求めてやってくる人が増えたそうです。訪れた親子は、メンバー手作りの紙おもちゃと一緒に遊んだり、近況報告や世間話をしたり。和らいだ表情になって帰っていく姿がたくさんありました。

近所での新生児の悲しい事件がきっかけで、子どもや子育てをする人の役に立ちたいという思いで会は設立され、組合員の坂本とも子さんの情報提供で助成申請。地域の人たちがホッとできる居場所でありたい、特に子どもが自由にできる場所を作りたい。その想いで無料学習会や外遊びの会も開催しています。この日の学習会では、おしゃべりが苦手という中学生と「しりとり」が始まり、おとなも子どもも素早いテンポで途切れることなく、予想以上の盛り上がりでした。



学習会参加の元気な中学生
生協提供のお茶でピース！



団体名 NPO法人 子どもと共に歩むフリースペースたんぽぽ

設立 2008年5月 広報ツール ホームページ、フェイスブック、チラシ、
代表者 青島 美千代さん 広報紙(たんぽぽつうしん・年3回)
活動拠点 横浜市
活動内容 フリースペース(不登校の子どもたちなどの居場所)の運営、親や子どもたちの相談事業、
学習支援、交流および情報提供・発信事業
メンバー 元教員・元学童指導員、学生、他 会員数103人 ボランティアの受け入れ 状況に応じて

助成団体紹介
Vol. 07

「生き方はいろいろあるよ」が体感できるみんなの居場所

不登校のお子さんや、その保護者に寄り添って15年以上。ここを居場所として人に出会い、好きなことを見つけたことで羽ばたいていった子どもたちは、漫画家、夢を見つけて大学に進学、作曲からアルバムデザインまでこなすピアニスト…とさまざま。巣立ってから、ボランティアとして関わってくれています。

学校に行かない子どもを持つ親の交流から始まり、子どもが安心して過ごせる場を作ろうとスタート。現在、登録して利用しているおさんは電車通って来る子が大半で、いかに貴重な存在であるかが分かります。

開所は週4回で、昼食をみんなで一緒に取るのは週3回。訪問した時は、昼食作りの真っ最中でした。スタッフと一緒にポテトサラダを作る子、ゲームをしている子、大学生のボランティアと話している子など、おのおのが自然体で過ごす姿とリラックスした表情が印象に残りました。

ご飯・おやつ作り、工作教室、地元町内会と連携した落語寄席の開催などの室内の活動に加えて、スポーツセンターや公園へスポーツをしに行ったり、工場・美術館の見学や観劇に出かけたりもするそうです。登校していないことで得られなかった体験を、ここの仲間と共有できるように配慮されていました。

小学生を中心に相談が増えている現状に対応するため、子どもたちが楽しく安心できる場所、親も相談できる、親同士がつながれる場所として、ますます重要性が増すように思われました。



好きなことを好きな場所で



地域の平和活動

2023年度に実施した地域での平和活動の一部を紹介します。

戦跡、資料館などを戦争と平和に関する歴史を学ぶ訪問企画

過去の戦争について学べる
平和祈念展示資料館(新宿区)を訪問！
(第2地域委員会 主催)

兵士、強制抑留者、引き揚げ者の苦労を物語る当時の映像、実物資料の常設展示を1時間程度学芸員から解説していただきました。子どもが関心を持つようなジオラマ展示や、特別展示があり、定期的に足を運び戦争の歴史を学べる資料館でした。



平和を考える浅川地下壕
(八王子市)の見学会
(第6地域委員会 主催)

第2次世界大戦末期に作られた「浅川地下壕」は東洋一といわれた軍用飛行機メーカーの秘密地下工場として使われた全長10kmにも及ぶ東京の戦跡。参加者のライトの明かりだけを頼りに、講師の説明を聞きました。戦時中にタイムスリップした



感覚で平和の大切さについて感じる事ができ、親子参加も多い見学会でした。



戦争体験のお話会など

自分事として考える戦争・平和
～被爆体験談とプレゼンテーション
(第9地域委員会 主催)

東友会の石飛公也さんの被爆体験を伺いました。「4歳で原爆投下直後の広島駅から見た一面の焼け野原は、がれきや遺体の燃えた臭いとともに78年経っても忘れられない」と語りました。その後、参加者がグループに分かれ、戦争にまつわる本・映画などの作品を紹介しました。

ピースアクションinナガサキの子ども平和会議のアピール文※では「自らが被爆の実相に触れるだけでなく、さまざまなコミュニティやツールを用いて、人から人へ、記憶と記録を伝えていきます」と自分たちのやり方で伝えていくことを宣言しています。

今を「新しい戦前」にしないために。本特集があなたにとってピースアクションの一步となることを願っています。

※2023ピースアクションinナガサキ子ども平和会議 日本生活協同組合連合会ホームページ <https://jccu.coop/>



「原爆に母を奪われて」

東京被爆二世の会(おりづるの子)

会員 澤原義明さん



プロフィール 1948年広島生れ
母親の澤原登志子さんは、23歳で広島市内の自宅で被爆。7年後、骨髄性白血病と診断され、4年半にわたる闘病生活を余儀なくされ、36歳で亡くなりました。義明さんが9歳の時のことです。

家族との生活を奪われた母の思いを継いで
2月の寒い日でした。深夜に駆け付けた原爆病院で、よく叱られ近寄り難かった父が、僕の手とお母さんの手を痛くするほど強く握らせて「お母さんと言え、お母さんと呼べ」と繰り返し叫び、部屋中に響くような大声で辺り構わず泣いていたことを覚えています。
母の手記の存在は、ドイツに住んでいた娘から知らされました。「健康になりたい。普通の生活がしたい」その必死の思いが繰り返しつづられていました。娘と広島平和記念公園を歩きながら聞かれたことがあります。
「パパはアメリカ力が憎くはないの。リベンジしたいとは思わないの？」
母は健康を破壊することは二度としないしてほしいと手記に切望していました。僕は自身を論ずるために「憎



1953年6月
原爆病院中庭にて

んではないよ。リベンジをしてはならない。憎しみからは何も生まれないよ。話し合っかない」と答えました。
同じ過ちを繰り返さないために
核兵器禁止は理想だとか実現不可能だとか言わないでください。平和であることがいかに壊れやすいことか、このことを絶対に忘れないでください。被爆者の思いと全ての戦争の被害者の思いに寄り添って平和を願う国民運動として連帯していく必要があると思います。
戦争を繰り返してきた過去の歴史に学び、諦めることなく、共感と安心、共通認識が醸成されるまで、対話続けることを諦めないでください。そしてここに

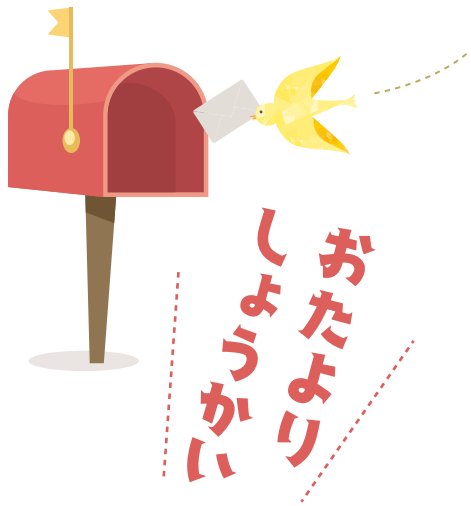
※主な資料 2008年8月 NHK広島放送局「ヒバクシャからの手紙」
1953年8月 岩波書店「世界」ある白血病患者の手記

沖縄戦の記憶をたどる
～対馬丸事件を中心に～

(第3地域委員会 主催)

「ピースアクションin 沖縄」に参加した職員の報告会。参加者からは「沖縄の歴史を知り、悲しみを知り、今の基地問題が解決しない限り私は観光気分です。沖縄にはいけない」との声もあり、今もなお戦争の犠牲を強いられている沖縄に思いを寄せました。





今 は自分の家族の世話をすること
で、手がまわりません。「仲間づ
くりボランティア」ができるようになる
までは「募金」などで支援します。
中野区 小倉あん

加 入したばかりで初めて読み
ました。子どもと一緒に新年
クイズを解きました。楽しかった
です。 葛飾区 山川 真富果



●鶏卵(かき玉と生姜をいれ
てとろみをつける)は風邪
の時に食べると体が温まり
ます。京都特有の食 べ方
でしょうか。 目黒区 かのん

●パスタソースにインし
て使うと別に茹でなくて
良いし、時短になって便
利! かつおいしいです。
小平市 にやふ

●鍋の締めとして入れて食べるのが
家族のお気に入りです。最近
は鶏ベースの鍋をし、鶏団子を入れたと
ころ2歳の息子に「これおいしいね
え」と好評でした。 三鷹市 わや

●職場で電子レンジが使えるので、お
弁当にしています。天井セットの天
ぶらや肉や卵をのせたり、つゆをカ
レー味やキムチ味にしたりして楽し
んでいます。 世田谷区 まきあき

母 私、娘、孫4世代に渡り生協
商品で充実した生活を送っ
ています。世の中の子も達が、
お腹が満たされる毎日を送れます
ように。 世田谷区 みーちゃん

問 違い探しは、小1息子が「MOGMO
G」に興味を持ってくれるきっかけ
になりました。小さい頃の食生活が、大
きくなってからも身近なものであってくれ
ればいいと思います。 町田市 ゆうと

仲 間づくりボランティア」の活動を
知りました。私自身の参加は体力
的に難しいのですが、このような地道
な活動が地域ごとに広がっていくこと
が理想です。 世田谷区 小春

見 た目がかなり悪い物(これ絶対企
画外でしょう)と思うものが入って
いたことがありましたが、味は絶品!
果物を頼んで実感しました。見た目を
気にせずいただくようにしようと思いま
した。 国分寺市 野田 久美子

産 地・メーカーの紹介ページはとて
も素晴らしいと思います。小学生
のうちから、工場見学や国産小麦の勉
強をすれば、大人になってからも自給
率などに関心を持ち続けられると思い
ます。 北区 キタキツネ

新 年に合った表紙とクイズが
ステキだなと思いました!
季節に合った内容にしてい
ただけることで、忙しい中でも意識を
することができます。いつも、あり
がとうございます! 川口市 ゆきんこ

食 べることの大切さ、楽しさ
を子どもやママ友にも伝え
ています。和漢薬膳の資格をと
ったので、体調や体質にあった食品
や食べ方を不調のある周囲の人
に伝えていくことをしたい。
横浜市 kikyoriko

冷凍うどんは利用していますか? お気に入りの食べ方を教えてください

●運動部の息子が小腹を空いた
とよく言うので、すぐに対応
するために常備しています。
明太子焼きう
どん、キムチ鍋ス
ーうどん、月見
うどんなどです。
大田区 にこにこ八咫鳥



●めぐみ豚ロースしゃぶしゃぶ用とネ
ギ、東都国産丸大豆醤油、東都純米料
理酒で作る肉うどんはすごくおい
しい。平飼卵ととろろ昆布とかつお節
も必ずのせて。東都生協とはお嫁に出
てからずっと30年のお付き合い。おか
げで料理の腕を上げました。ありが
とうございます。八王子市 ゴマちゃん

●大学生の子どもは、電子レンジ
で温めてつゆと生卵をからめて食
べるのがお気に入り。おいしいの
は分かるけれど、母としてはつい
「野菜もいっしょに摂れば
…」と声をかけてしまい、いつ
もにらまれています。 渋谷区 とものはは

A~Dの順に並べてできる言葉は?

A	B	C	D

- ①「凸」の訓読み
- ②運転初心者がつける〇〇〇マーク
- ③珍しいことや未知のことに対する興味
- ⑤学校の組
- ⑥〇〇〇心頭が発する
- ⑦「河豚」と書く魚

ヒント 春を告げる

1				7		9
			6			B
				C		
2	4					
		5		8		
					D	
3			A			



組員から寄せられた声や質問にお答えします。

Q 「麻婆茄子丼の具」300g (2袋入り) は辛すぎず、子
どもにも食べやすい味付けでお気に入り商品ですが、最近見
かけず注文ができません。
株式会社ニッコーさんの冷凍の加工商品は全般的におい
しく、期待しています。ぜひまた、この商品を企画してほしい。

A ご要望の商品は製造を継続していますが、株式会社ニッ
コーが自社で栽培したナスを使用した商品のため、収量が
安定しない年もあり、管理が難しいことから2020年から取
り扱いを休止していました。

現在は原料の収量も比較的安定していることから、仕様
内容を改めて確認し、2023年10月より新商品として登場
しています。ただし、ナス
の収穫時期のみ製造・供
給するため、8月~10月
の限定企画の予定ですの
で、もうしばらくお待ちく
ださい。



Q 「春便りよもぎ天」(4枚入り)がおいしいので、もっと取り
扱ってほしい。

A この商品は、製造元のおがた蒲鉾(愛媛県)が飽きのこ
ない食卓提案として、よもぎの旬である3月~5月の期間限
定品としており、東都生協ではその期間内で月に1回ご案
内しています。

商品の特徴は、スケトウダラやイトヨリダイの無リンすり身
に国産のよもぎを練り込み、香り良く仕上げた揚げかまぼこ
です。

今季は今後、4月2回、5月2回のご案内を予定しています。
魚肉練製品は1年を通して季節限定商品が多く、他にも春は
「国産たけのこ天ぷら」、
夏は「宇和海の味夏セッ
ト(揚げかま)」など、季
節限定商品がたくさんあ
りますので、ぜひお試しく
ださい。



Q チョーコー醤油株式会社(長工醤油味噌協同組合)
の「ゆず醤油かけぽん」400mlを最近商品案内
で見かけず、仕方なく他店で買っています。
原材料に添加物が使用されておらず、それだけでは
なく、何にでも合うため、私は1年を通してこの商
品を利用しています。最近、姉妹品の「実生ゆず
減塩ぽん酢」を見かけ買ってみました。が、「ゆず醬
油かけぽん」がよいです! ぜひ取り扱ってほしい。

A 「ゆず醤油かけぽん」は丸大
豆薄口醤油をベースに、高知県
産ゆずの果汁を使用した商品とな
り、現在月に1回程度の頻度でご
案内をしています。

次回3月4回に商品案内「San
bonsugi」調味料ページにて掲
載、次々回は4月3回のご案内
を予定しています。



Q 「煮干粉」をいつも利用し重宝しています。できるだけ
定期的に企画してほしい。

A 「煮干粉」は定期的に月1回の別冊「Mekke!」
での企画としていますが、その企画週に祝日が絡む
とメーカーの納品ができず企画を休止することがあり
ます。

2023年は7月・8月と続いて企画休止となってい
ましたためご不便をおかけしました。今回は4月1回の
「Mekke!」紙面でののご案内を予定しています。なお、
今後は企画休止が続かないように調整していきたく
検討していきます。

別冊さんぽんすぎ Mekke!



煮干粉は、いわしを
丸ごと粉末にし、
昆布といったけの粉末を
加えた商品です。
料理にひとふり
おいしさアップ!

正解者から抽選で、10人に、
図書カードをプレゼント!

発表は賞品の発送をもって
代えさせていただきます。

MOGMOG ホームページからも応募できます!
<https://www.tohto-coop.or.jp/mogmog/>

クイズの答え、おたより、写真、イラストなど
は、はがきまたはホームページから送ってね。
上記アドレスあるいは、右の二次元コードか
らアクセスしてください。



はがきで応募する場合は、
右記の内容を
書いて送ってね。



- クイズの答え
- 住所/氏名(お子さんの場合、年齢または
学年)/組員コード/ペンネーム(希
望の方)
- 「お弁当」にまつわるエピソードを教えてく
ださい。
- 「食の未来づくり運動(日本の農業を元気
に)」のために「私がやっていること」を教
えてください。
- 各記事に関する感想や「MOGMOG」へ
のご意見、イラスト、写真などお待ちし
ています!

※おたよりや個人情報は、『MOGMOG』(インター
ネット含む)でご紹介する場合がありますが、編
集目的以外での使用はいたしません。(おたより
は、リライトして掲載する場合があります)
※おたよりへの個別回答は行っておりません。

締め切りは
3月27日(水)の
消印まで有効。

★宛て先

〒156-0055 世田谷区船橋5-28-6
吉崎ビル4階 「MOGMOG」 係

2月号の答え
セツパン





食の未来づくり運動

心をつなぐももータオルキャンペーン ～酪農危機の今こそ ありがたいの想いをタオルとともに届けよう～

ももータオル贈呈式

開催 2023年11月18日 **会場** 千葉北部酪農農業協同組合 高秀牧場 **主催** 組合員活動委員会

千葉北部酪農農業協同組合 高秀牧場(千葉県いすみ市)近くの会場で「ももータオル贈呈式」が開催され、19人(うち子ども6人)が参加しました。

参加した子どもたちから代表理事組合長の高橋憲二さんに、組合員から集めた白いタオルとメッセージの一部が手渡され、高橋さんからは「たくさんのタオルと心温まるメッセージをいただきありがとうございました」と感謝状をいただきました。

交流会では、世界情勢や異常気象の影響、飼料価格高騰などが酪農家の経営を圧迫し危機的状況であること、国産の飼料で牛乳や牛肉の生産を行う「里山プロジェクト」構想



みんなの想いを届けました！

についてのお話を伺い、参加者からは「飼料高騰など大変なことばかりだと思いますが頑張ってください」「八千代牛乳を飲む時に作っている人のことを考えて飲みたい」などの感想がありました。

※東都生協では、「八千代牛乳」の生産者が搾乳時に使うタオルを1年おきに組合員から募集して贈っています。



タオルをありがとう！
牛のお乳を
拭きますね～



経産牛のハンバーグでランチ交流

2023年度「第3回 商品について議論する場」

共通テーマ「持続可能な生産と消費」

個別テーマ「農業の生産現場の現状と課題、加工品(おかずキット)に取り組む理由・思い」

開催 2023年11月22日 **会場** さんぽんすぎセンター **主催** 商品委員会

講師 JAやさと 廣澤和善専務理事、芝間和重産直課課長、立原里紗職員

「商品について議論する場」はこれまでオンラインで開催してきましたが、初の集会型をさんぽんすぎセンターにて開催し、学習会に加えて、調理試食も行いました。

「産直産地の野菜と産直肉を使ったおかずキット」を望む組合員の声を受けて開発し、2021年6月よりJAやさと(茨城県石岡市)の野菜・肉を使った商品の供給がスタートしました。

参加した商品委員からは、「万人向けは難しいと思うが、試行錯誤し工夫していることがよく分かった」などの感想が出されました。

JAやさととは、地域循環型農業や新規就農者受け入れなど先進的な取り組みを行っており、その取り組みが評価されて2023年に有機栽培部会が「第52回日本農業賞 集団組織の部大賞」、第62回農林水産祭の園芸部門で「内閣総理大臣賞」を受賞しています。

廣澤和善専務理事からは、「東都生協の食べる約束があるから作ってこられた。今後も組合員と産地が互いに思いを伝えられる関係を継続し、農業の現状について理解を深めてほしい」「持続可能な生産と消費のために国産の物を利用しましょう」と呼び掛けがありました。

1月には組合員と共に開発した「おかずキット」も新登場。生産者と消費者が一体となって食について考え行動していくことが食の未来づくりにつながることを再確認しました。

鶏肉と小松菜のガリバタ醤油炒め(産直鶏肉使用)



キムチ鍋
(産直豚肉使用)



今月の
つばやき

春は終わりと始まりの時季。昨年末に咲き始めたわが家の枇杷も実を少しずつ大きくしながら冬を越してくれ、初夏の収穫が楽しみです。4月からは組合員活動も新たな形で始まります。「ありがとう」と「よろしく」の新年度の始まりにドキドキ、ワクワクしています。読んで楽しい&「へえ、そうなんだ!」と学べる情報を発信できるように頑張ります! (S.N)

お問い合わせ

産地直結ひとすじ。いちばん頼れる生協に。

共同購入事業部 組合員活動推進グループ

☎03(5374)4756 月曜～金曜日：午前9時～午後4時

E-mail: kumikatsu@tohto.coop

〒156-0055 東京都世田谷区船橋5-28-6 吉崎ビル4階



東都生活協同組合